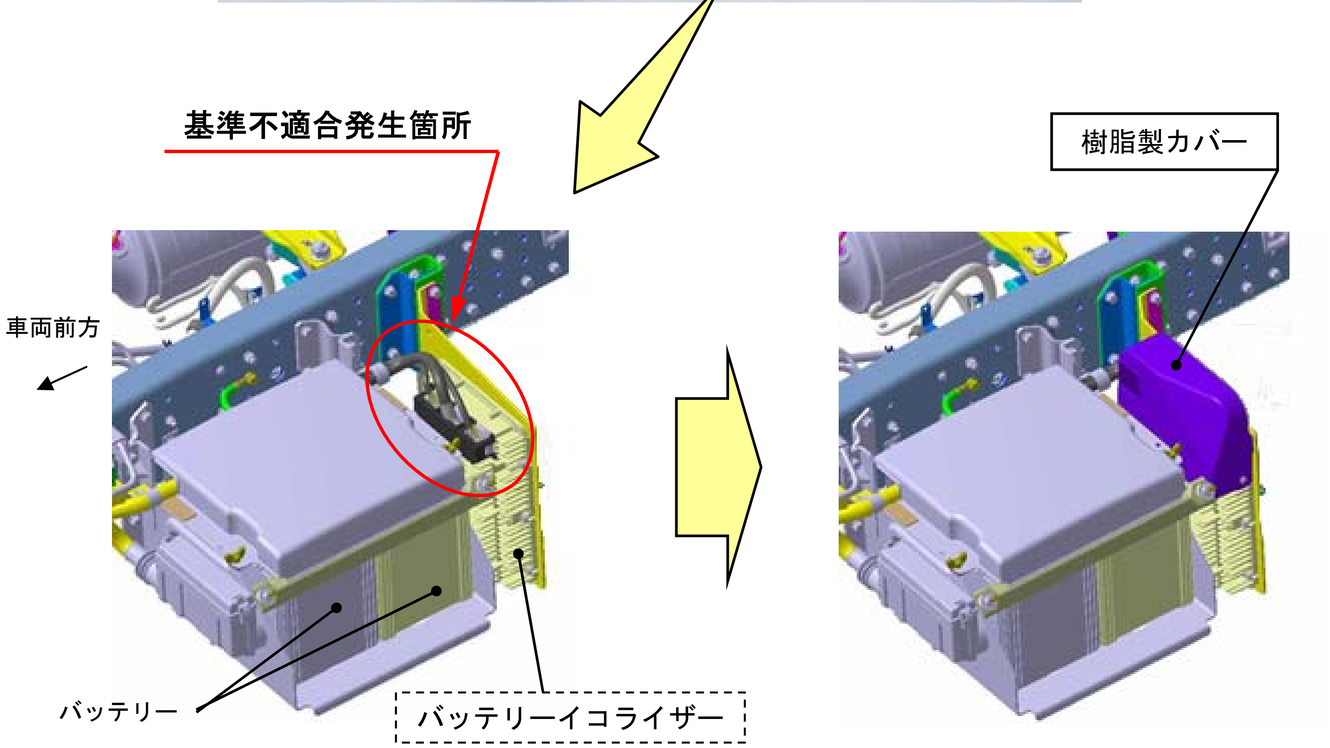
改善箇所説明図



≪改善前≫　　≪改善後≫

小型トラックにおいて、バッテリーイコライザーの12Ｖと24Ｖ端子の防水加工に不適切なものがあり、融雪剤等の導電物質が付着すると、当該端子とバッテリーイコライザーのケースが通電して電気的腐食が発生するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該端子部でショートが発生し、最悪の場合、端子周りの樹脂部品、配線からの発煙、発火に至るおそれがある。

改善措置の内容

全車両、バッテリーイコライザーの12Ｖと24Ｖ端子部に高粘性グリスを塗布し、被水防止の樹脂製カバーを追加する。

また、12Ｖと24Ｖ端子部の著しい電気的腐食によって、配線の固定が正常に行えない場合には、バッテリーイコライザーと配線を新品に交換する。

ただし、架装物との干渉により被水防止の樹脂製カバーを追加できない車両については、カバーの装着はせず、高粘性グリスの代わりにボンドを塗布する。

注　：（実線枠）は追加する部品を示す。
　　　（破線枠）は端子部の著しい電気的腐食により、配線の固定が正常に行えない場合に、新品と交換する部品を示す。

識別：作業完了車には、助手席リヤドアピラーストライカー付近に「LT134」の文字が記載された白黄色のシールを貼付ける。